

# ふれあい つながり かわら版

## 今できる小中一貫教育(2)

小中一貫教育

×

ICT

||

?

第1-8号では「教職員」のつながりをテーマに、広嶺中ブロックのオンライン研修会を取り上げました。小中一貫教育の取組にICTをかけ合わせることで、時間的・空間的な制約が取り除かれ、「教職員」「児童・生徒」「子供の学び」がより一層つながり、教育効果の拡大が期待できます。本号では、「児童・生徒」「子どもの学び」のつながりをテーマに、ICTを活用した取組を紹介します。

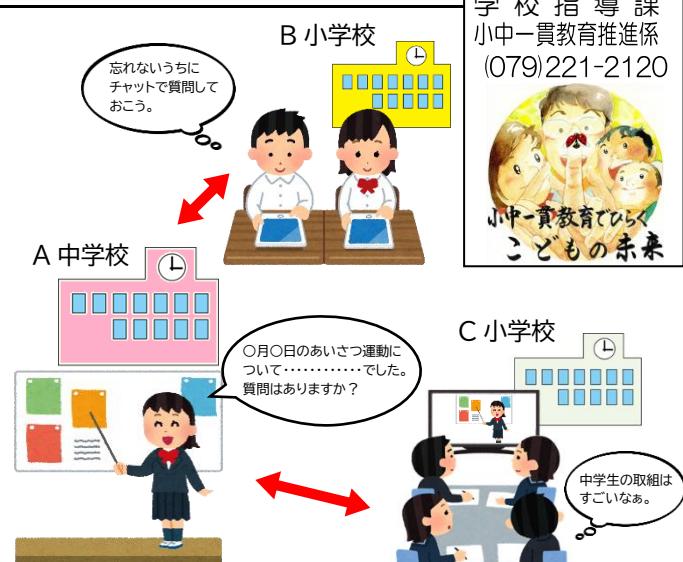
### 「児童・生徒」のより一層のつながり

自尊心や協働する力の高まり等、人間関係力の育成を図るため、合同あいさつ運動、音楽会・学習発表会への相互参加など、各ブロックにおいて様々な取組が行われてきました。これらの取組にICTを取り入れることで、一層の充実を図ることができ

ます。例えば、ビデオ会議ツール「Meet」を活用した交流会や、撮影した動画視聴による合同発表会を実施することで、これまで課題であった時間や場所の調整を容易にすることができま

姫路市教育委員会  
学校指導課  
小中一貫教育推進係  
(079)221-2120

小中一貫教育でひろくこどもの未来



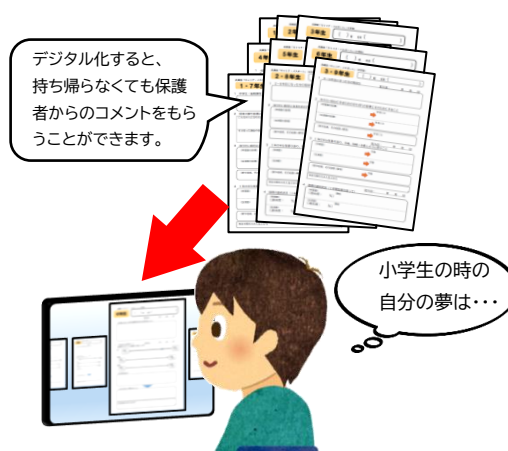
事例『あいさつ運動の振り返り』  
(Meet 使用した生徒会・児童会の交流)

### 「子どもの学び」のより一層のつながり

ICTの利便性を活かすことで、これまでの取組を円滑に実施できるとともに、これまでできなかった取組が実現する可能性もあります。また、対面とオンラインとを組み合わせたハイブリット方式など、今後、様々な形での取組の実施が考えられます。

子供の育ちや学びのつながりを重視した小中一貫教育の取組として、学習ポートフォリオの活用があります。学習・思考履歴や成果物など、自らの学習過程をポートフォリオとして蓄積し振り返ることは、達成感を感じたり、次の学びを調整する力をつけたりするのに有効です。また、教師にとっては、学習評価の材料となるだけでなく、自らの指導を振り返り、指導改善にもつなげることができます。

一人一台端末のICT環境を活かし、学習ポートフォリオをクラウド上に保存することで、時間・空間にとらわれず作成物にアクセスし、学びを効率的に振り返り、学年・校種間の枠を超えた学びの連続性を意識した学習が容易となります。



事例『キャリア教育 将来の夢』  
(兵庫県版「キャリア・パスポート」及び「キャリアノート」のデジタル化)  
※兵庫県版「キャリア・パスポート」は、デジタル化して運用した場合でも、校種を超えての引継ぎ時には、紙面による引継ぎ(各学年1枚)が必要となります。

### 小中一貫教育×ICT＝一層のつながり

これまでの姫路市の小中一貫教育の取組における最大の成果は、小中教職員が顔見知りとなり、つながったことです。合同での取組を進める中で、年々小中学校の意識がそろい、授業改善の取組にもつながってきました。今後も、これまで積み上げてきた小中教職員のつながりを活かし、各ブロックでの工夫した取組が求められます。

双方方向のコミュニケーションツールとして、また子供の学びの足跡やつながりを視覚化するツールとしてICT活用することで、小中一貫教育のさらなる充実が期待できます。